

地域の経済動向（令和3年7～9月期）
《オホーツク地域》

1 経済動向に係る企業等の声（7～9月期）

【製造業】

- ・ コロナの影響もあり、一昨年度から昨年度にかけては2割以上落ち込んでいるが、今年度は昨年度と比べると、売上、利益とも1割ほど回復する見込み。（水産加工業）
- ・ ホタテの水揚げは順調だが、人手不足で処理能力に限界があり売上も大きく伸ばせない。（水産加工業）

【運輸業】

- ・ 若い世代の人材が不足しており、大型自動車のドライバーの確保が困難。特に地方では求人難を痛感している。（一般貨物自動車運送業）



【サービス業】

- ・ 経営は危機的状況であり、融資では返済が困難なので、固定資産税の減免など返済不要のボリューム感のある支援策を早急に実施して欲しい。（旅館・ホテル）

【関係機関・団体】

- ・ 昨年のコロナ拡大からずっと町内の中小・小規模事業者の売上は戻っていない。かなり厳しい。緊急事態宣言が出ていないときでも、人が町に出てきていない。（商工会議所）
- ・ 会員企業はもとより、地元飲食店・ホテルや旅行代理店をはじめとして、卸・小売業も今年に入り厳しさが更に深刻化している。従業員を抱える企業は、家族従業員以外の雇用を維持することがいよいよ厳しくなっている。（商工会議所）
- ・ 町内でも8月中旬からクラスターが発生しており、現在は緊急事態宣言下ということもあり、街に人が出していない状況で、飲食店は休業しているところが多い。（金融機関）
- ・ 飲食・宿泊業は依然厳しい状況だが、その他の業種の業況は例年並みの印象でそれほどコロナ禍で苦しんでいる印象はない。（金融機関）

































2 道内金融機関から見た地域景況感 (7～9月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

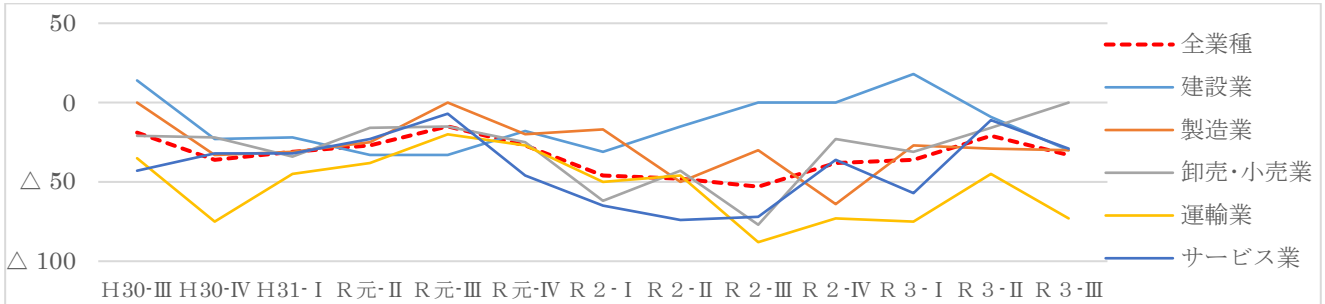
【直近の景況感】

	現在の景況感			判断理由	次期見通し	
	総合	生産 動向	消費 動向		方向感	判断理由
網走信用金庫				当金庫で行った業況調査の結果、全業種で業況判断 DI 値が前回調査に比べ改善しているものの、依然としてマイナスの状態が続いていることから、消費動向、生産動向、総合的な景況観全て「低調」と判断した。		全業種において、3 か月後の業況見通しについて「悪化」とする回答が多いため、次期の景況見通しは「下降傾向」と判断した。
遠軽信用金庫				遠軽地方の生産動向の景況感については、前年同期と比較すると、製造業については収益が増加しているものの、その他業種については、厳しい状況が続いていることから、「やや低調」(前回調査時: やや低調)と判断した。 遠軽地方の消費動向の景況感については、依然として厳しい状況にあるものの、前回調査時と比べ、製造業及び建設業の業況判断DIに改善がみられたことから、「やや低調」(前回調査時: 低調)と判断した。 前回調査時(4月期-6月期)と比べ、製造業及び建設業において業況判断DI値が改善しているものの、どの業種も新型コロナウイルスの影響により業況は厳しいとのことから、遠軽地方の総合的な景況感、前回調査時同様の「やや低調」と判断した。		令和3年10-12月期の景況見通しについては、新型コロナウイルス感染収束の見通しがたらず、多くの企業が先行き不透明で、業況の回復に時間を要すると思われることから、時期の景況見通しは「変わらない」と判断した。
北見信用金庫 (北見地区)				当金庫の景気動向調査によると、前年同期と比較した売上 DI は△28 となり、収益 DI は△31 となった。前回調査時(3ヵ月前)から売上 DI は2ポイント悪化、収益 DI は1ポイント改善した。しかしながら、依然として DI はともにマイナスであり、景気が悪いと捉えている企業が多く存在している。		当金庫の景気動向調査によると、今後3ヵ月の見通しでは、売上 DI、収益 DI ともに悪化する見通しとなっている。
北見信用金庫 (紋別地区)				基幹産業であるホタテ漁が最盛期を迎えたことにより、生産活動は例年並みに上向きとなっている。緊急事態宣言による飲食店及び観光関連産業への影響は大きく、人の流れは依然として戻らない状況から、全体として「普通」とした。		水産関連業者の繁忙期を迎えるに当たり、各魚種の水揚げ状況に大きく左右される中、この時期の主力である秋サケ漁については、前年比では 190%超の好調でスタートしている等、好材料はあるものの、最盛期に比しては依然として低調。各種補助金を利用した設備投資も活発化していることから、全体として「変わらない」と判断した。

【景況感の推移】

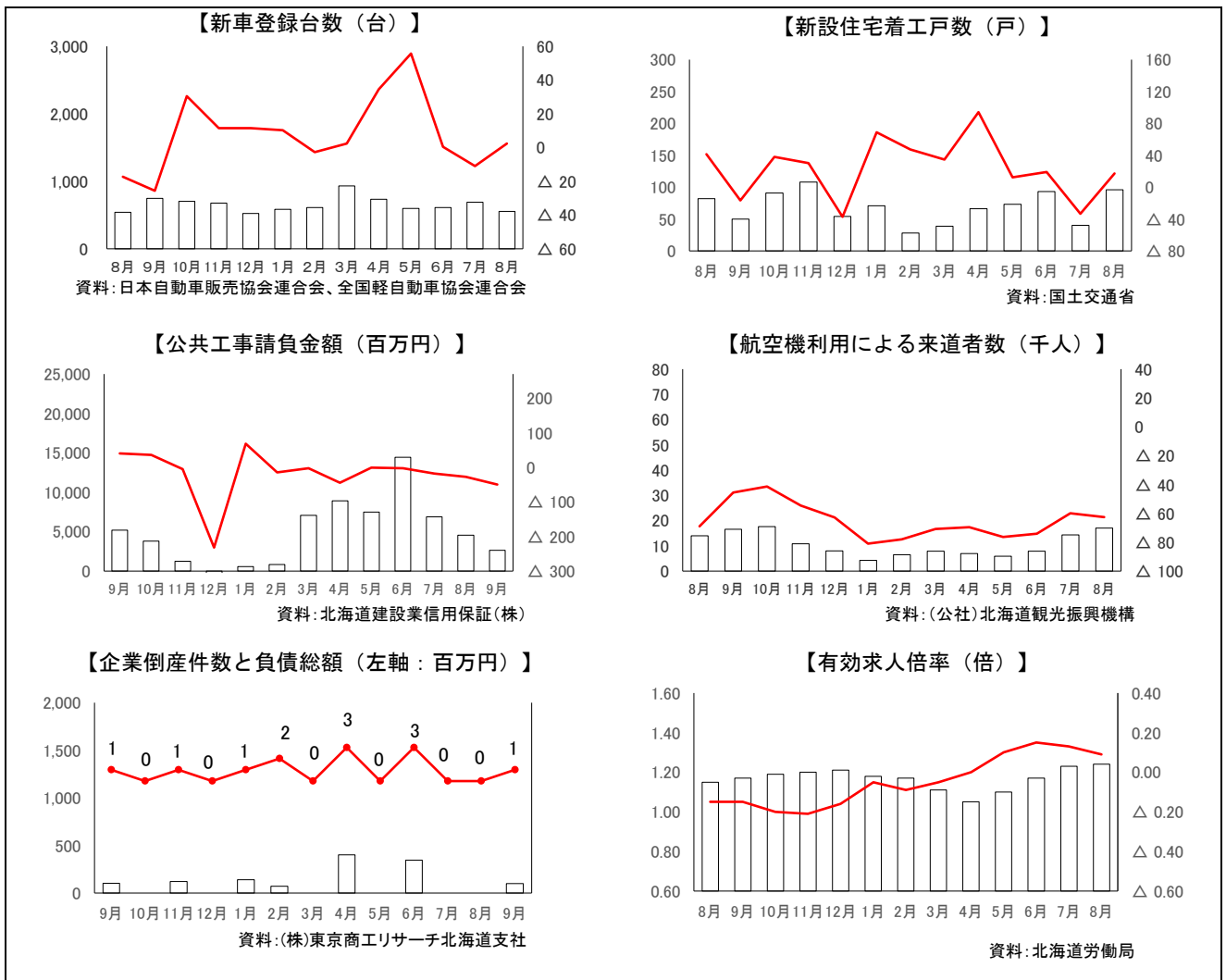
	R元-IV	R2- I	R2- II	R2- III	R2- IV	R3- I	R3- II	R3- III
網走信用金庫								
遠軽信用金庫								
北見信用金庫 (北見地区)								
北見信用金庫 (紋別地区)								

3 業種別の業況感BSI（企業経営者意識調査）



	H30-III	H30-IV	H31-I	R元-II	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III
全業種	△ 19	△ 36	△ 31	△ 27	△ 15	△ 27	△ 46	△ 48	△ 53	△ 38	△ 36	△ 21	△ 33
建設業	14	△ 23	△ 22	△ 33	△ 33	△ 18	△ 31	△ 15	0	0	18	△ 9	△ 30
製造業	0	△ 33	△ 31	△ 25	0	△ 20	△ 17	△ 50	△ 30	△ 64	△ 27	△ 29	△ 30
卸売・小売業	△ 21	△ 22	△ 34	△ 16	△ 15	△ 25	△ 62	△ 43	△ 77	△ 23	△ 31	△ 16	0
運輸業	△ 35	△ 75	△ 45	△ 38	△ 20	△ 27	△ 50	△ 46	△ 88	△ 73	△ 75	△ 45	△ 73
サービス業	△ 43	△ 32	△ 32	△ 23	△ 7	△ 46	△ 65	△ 74	△ 72	△ 36	△ 57	△ 11	△ 29

4 各種経済指標



(右軸：来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差)：%)